



BGP の設定

- [BGP の概要](#) (1 ページ)
- [BGP の制限事項](#) (1 ページ)
- [BGP の設定方法](#) (2 ページ)

BGP の概要

ボーダーゲートウェイプロトコル (BGP) は、独立したルーティングポリシーを持つルーティングドメイン (自律システム) の間に、ループのないルーティングを提供するように設計されたドメイン間ルーティングプロトコルです。シスコの BGP バージョン 4 のソフトウェア実装では、4 バイト自律システム番号およびマルチプロトコル拡張がサポートされており、IP バージョン 4 (IPv4)、IP バージョン 6 (IPv6)、バーチャルプライベートネットワーク バージョン 4 (VPNv4)、コネクションレス型ネットワークサービス (CLNS)、レイヤ 2 VPN (L2VPN) を含むインターネットプロトコル (IP) マルチキャストルートおよび複数のレイヤ 3 プロトコルアドレスファミリのルーティング情報が BGP により伝送されるようになっていました。このモジュールには、BGP がどのようにシスコソフトウェアに実装されているかの理解に役立つ概念図が含まれています。

詳細については、「[Information About Cisco BGP](#)」を参照してください。

BGP の制限事項

- BGP-PIC はサポートされていません。
ただし、デフォルトでは、すべての Cisco IOS XE プラットフォームで BGP-PIC が有効になっているため、コンフィギュレーションモードで **cef table output-chain build favor memory-utilization** コマンドを使用して、BGP-PIC を無効にする必要があります。BGP-PIC が無効になっている場合は、ルートアップデータの失敗が発生する可能性があります。
- グレースフルリスタートを使用して BGP を設定し、**no router bgp** コマンドを使用して BGP 設定を削除すると、グレースフルリスタートタイマーが開始されます。その結果、古いエントリが BGP ルーティングテーブルに存在し、BGP グレースフルリスタートタイマーが終了した後に初めて削除されます。

BGP の設定方法

BDI での BGP の設定

ベーシック BGP ネットワークの設定は、いくつかの必須作業と多数の任意の作業からなります。BGP ルーティングプロセスと BGP ピアは必ず設定する必要がありますが、このとき、できればアドレス ファミリ コンフィギュレーション モデルを使用してください。BGP ピアが VPN ネットワークの一部である場合、BGP ピアの設定には、IPv4 VRF アドレス ファミリ タスクを使用する必要があります。

詳細については、「[Configuring BGP](#)」を参照してください。

BGP 設定の確認

BGP 設定を確認するには、次の **show** コマンドを使用します。

```
router#show run int lo0
Building configuration...

Current configuration : 86 bytes
!
interface Loopback0
ip address 10.10.10.10 255.255.255.255
ip ospf 30 area 0
end

RTR10-Dom3(config)#do sh run | sec router bgp
router bgp 1
  bgp router-id 10.10.10.10
  bgp log-neighbor-changes
  redistribute connected
  neighbor 1.1.1.1 remote-as 1
  neighbor 1.1.1.1 update-source Loopback0
  neighbor 6.6.6.6 remote-as 1
  neighbor 6.6.6.6 update-source Loopback0
  neighbor 8.8.8.8 remote-as 1
  neighbor 8.8.8.8 update-source Loopback0
```

BGP の設定例

「[Configuration Examples for a Basic BGP Network](#)」で説明されている例を参照してください。